

会派代表質問

持続的な発展と魅力ある
都市づくりの実現にむけて！

自 民

小金井 勉 議員



問 財政健全化に向けた取り組みについて、本市の財政状況は、歳入面

では、類似の他団体と比較し、企業
の数が少ないことから償却財産に関
わる固定資産税、法人税などの経常
的な一般財源が少ないこと、歳出面

では、下水道や大網病院などの企業
会計への繰入金並びに清掃組合や行
政組合などの一部事務組合に対する
負担金などの補助費等の支出割合が
大きいこと、職員の高齢化により、
人件費が増加傾向にあるなどが挙げ
られます。はじめに固定資産税の増
収についてどのように考えているの
かお伺いいたします。

答 本市の税収について近隣市や類
似団体と比較すると企業や事業所が
相対的に少ないため、歳入を占める
法人市民税や固定資産税などの割合
が低いことが分ります。土地や家屋
に課税する固定資産税は安定的な財
源とされており、これらの収収確保
を目的として企業誘致の推進に取り
組んでいます。これまでコメリパ
ワー大網白里店の出店が実現し、市
税収入の増加に寄与しています。今
後も固定資産税などの安定した税収
の確保につながる有効な財源対策の
一つとして、企業誘致の推進に取り
組んでまいります。

問 本市の償却資産に関わる固定資
産税が他団体と比較して少ないこと
は、市内に大規模な設備や機械を持
つ工場が少ないことが原因と考えら
れますが、本市は大規模な工場を誘
致できる適地がないことから現実に
困難であります。このような状況
から当面の課題に対応するため、ふ
るさと納税の安定的な確保に注力す
ることが現実的でないかと考えます
が、今後の拡充の取組みについて、

市の考えをお伺いします。

答 ふるさと納税を確保していくた
めには、新しい特産品を開発し、返
礼品の拡充を図ることも必要である
と認識している中で、特産品の開発
に鋭意取り組んでまいります。

問 都市計画税の導入について、現
時点での市の考えをお伺いします。

答 都市計画事業の本来の財源とし
て都市計画税の導入の必要性は高い
と考えています。

問 公営企業や一部事務組合への負
担金の削減をどのようにしていくの
かお伺いします。

答 一部事務組合への負担金につき
ましては、厳しいチェックを行い、
負担金の抑制を図っています。大網
病院は、病院としての収益の確保及
び歳出の縮減・抑制を図り、健全な
病院運営に取組み、市民病院として
持続可能な医療提供体制の確保に努
めてまいります。下水道の一般会計
からの繰入金削減については、令和
6年度に資本費平準化債を借入れる
ことで、繰入金削減に努めています。
また、令和7年度には下水道事業経
営戦略の改定を予定し、総務省の経
営・財務マネジメント強化事業のノ
ウハウを生かしながら持続可能な下
水道事業の運営に向けて財政健全化
に取り組んでまいります。

※ この他の質問として公債費増加
に繋がる投資的経費の抑制について
と公共施設の統廃合について質問を
行い、この他、金谷川河川改修事業
について、進捗状況と今後の計画に
ついて、JR東金線協議状況について
これまでの総事業費について、ま
た市民サービスの向上について、大
網駅周辺の環境整備について、農業
行政についての質問をいたしました。

関連質問

斉藤 完育 議員



○下水道維持管理について

問 本市において、道路の陥没等リ
スクはあるのか、またどのような対
応をしているのか。

答 5年に1回以上の点検が義務づ
けられています。本市では令和5年
度に22か所の点検調査を実施致し
ました。その際に2か所の異常が確認
されましたが、異常のあった箇所
については既に修繕工事が完了して
おります。また、埼玉県八潮市内で
発生した道路陥没事故を受け、国土
交通省より合計2000ミリメートル
以上の下水道管に対する緊急点検の
要請がありました。本市における下
水道管の最大口径は1500ミリ
メートルであるため、自主的な対応
として緊急点検を実施した所です。
結果として、現段階で陥没の恐れが
ある箇所は確認されませんでした。

○職員に対してのカスタマーハラス
メントに関して

問 ポスター掲示等の実例について
様々な事案を未然に防ぐ意味も含め
て、防犯カメラ、電話を録音する機
能の導入等、具体的に検討された事
はあるか。

答 現在、庁舎内への啓発ポスター
の掲示は行っておりませんが、前向
きに対応していきたいと考えており
ます。電話の録音でございますが、
一部の課において現在既に実施して
いるところがございます。今後とも
適切に対応をして参ります。窓口等
への防犯カメラの設置についてで
ございますが、カスタマーハラスメン
トや行政対象暴力の防止効果などが
期待出来る事から、設置について検
討して参りたいと考えております。
※行政運営の向上を図り、移住定住
の促進を強く要望致しました。

関連質問

高野 祐二 議員



○大網駅周辺の環境について

問 大網駅南地区まちづくり協議会
の進捗について

答 大網駅南側約18haの区域を市の
玄関口にふさわしい魅力あるまちと
するため、土地所有者や関係地区長
が会員となり、将来の街の姿を描く
大網駅南地区まちづくり構想を策定
しております。これまで、先進地視
察など、検討会を開催し、先進自治
体の事例、都市基盤の整備手法など
、まちづくりに関する知識を深め、
将来像やまちづくり方針を定めた後
、実現に向けた土地利用方針や都市基
盤施設の整備方針などのとりまとめ
を進めています。今後は来年度協議
会の総会を開催し、会員の合意形成
が図られた大網駅南地区まちづくり
構想を策定した後、協議会から市へ
提言が行われる予定です。

問 夕方の渋滞について、昨年も質
問をしておりますが、その後のよう
な取り組みを行いましたか。

答 大網駅前広場再整備計画を策定
するなど、解決策を模索してまいり
ましたが、現在の限られたスペース
では抜本的な混雑の解消は困難であ
り、大網駅南口に駅前広場を整備す
るなど、容量拡大を図り、利用者を
分散させることが必要との結論に
至ったところです。

問 喫煙所の設置について

答 空気清浄機を備えた密閉式の喫
煙施設の検討について要望がありま
したが、空気清浄機ではタバコの有
害物質は除去できないとのことだ
す。駅前広場は通勤・通学で多くの市
民が利用する場です。受動喫煙防止
の観点から、広場内への喫煙所の設
置は難しいと考えております。
その他、農業行政について質問を
しました。

個人質問

すべての中学生への学習支援を充実
させ、子どもたちに明るい未来を！

黒須 俊隆 議員



問 生活困窮者に対する今年度の学
習支援事業は、中学3年生が対象で
6月から9月までの13回で終了しま
した。事業委託を受けていたNPO
の厚意により無償で継続されていま
したが、高校受験を前に12月で打ち
切られました。

この事業は貧困の連鎖を断ち切る
ための重要な施策だと私は考えてい
ます。本事業の目的は何ですか。

答 国の生活困窮者就労準備支援事
業費等補助金を活用し、日常生活習
慣の形成や社会性を育むとともに、
高校進学に向けた学習の習慣づけを
目的としています。

問 生徒の参加目的は主にどのよう
なものでしょうか。

答 生徒の感想では、苦手科目の克
服や学力向上を目的に参加している
と思われま。

問 なぜ6月から9月までの週1回
合計13回しか予算措置をしなかった
のですか。

答 受験生にとって大事な時期であ
り、時間的余裕のある夏休みを中心
にその前後を期間として設定いたし
ました。

問 来年度の事業計画はどのよう
になりますか。

答 令和7年度につきましては、今
年度と同様に、要保護世帯等の中学
3年生を対象に定員10名で実施する
予定です。事業の実施期間につきま
しては、7月から翌年1月まで期間
の延長を予定しており、週1回、全
30回の開催を見込んでおります。

問 次年度、高校受験直前の1月ま
で拡充するのことは大変良いと思
います。しかしながら事業の主な目
的が高校受験のために学習習慣をつ
けさせるのに中学3年生の夏休みか

ら始めるというのは遅くはありませ
んか。

一方で生徒たちは、苦手科目の克
服や学力向上を主な目的として参加
しています。どちらにしても中3の
夏休みからでよいのか大変疑問です
。中学1年生になると算数が数学に
変わり、英語が本格的に導入されま
す。ここですまなくと挽回が難しく
なります。学習習慣をつけさせるに
しても、学力向上、苦手科目をつくら
せないという意味でも、中1の夏休
みぐらいから始めるのがよいのでは
ないですか。

答 習慣づけという意味では中学1
年生なり、小学校の頃からするのは
もっともだと思いますけれども、困
窮者対策として実施しておりますの
で、高校進学にポイントを置いて実
施しています。受験勉強といえます
と、部活動が終わる夏休み頃から本
格的にやっているところもあります
ので、取りあえず夏休み以降と考
えております。

まずは次年度、今年度のように受
験前に終わってしまうことなくしっ
かりとやっていただきたい。今後さ
らに事業を拡充し、中学1年生まで
対象を拡大することを要望します。
また、貧困まで行かなくても、多く
の子育て世帯は教育費の高騰に悩ん
でいます。学習塾など教育産業に支
払う費用が大変大きく家計に重いと
いうのは文部科学省の調査で明らか
です。国の支出する教育費は先進国
の中で最低レベルです。困窮者対策
の学習支援だけでなく、授業につ
いていけない生徒への学習支援も併
せて、全ての子どもたちへの学習支
援を進めていただきますよう要望し
ます。